
意識が戻ったら

WEST祭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意識が戻ったら

【Nコード】

N6551A

【作者名】

WEST祭

【あらすじ】

これは平凡な高校生が魔物退治に選ばれてしまい、魔物を倒して行く物語です

冒険の始まり（前書き）

楽しいかもですッ

冒険の始まり

ある日の事、淳一はいつもどおり学校を遅刻して登校していた

登校中淳一は見知らぬヤンキーに声を掛けられた

しかし淳一はかなりの不良でよく見知らぬ人に声を掛けられるから余り気にせずシカトしていた

しかし今回はいつも通りいかなかったのであった

淳一はしつこく声を掛けられるのでついに殴り掛かった

しかし、見事に避けられてしまった

淳一はあぜんとした…

淳一はかなり喧嘩が強く、淳一の素早いパンチを未だ避けた人はいなかったからである

あぜんとしていたら相手がバットのよ

うなものを取り出して殴り掛かってきたのであるとつさに避けようとしたせいで滑ってしまい運悪く後頭部にバットが当たってしまった

淳一はかすれゆく意識のなかでなぜ俺は不良になったのだろう

不良にならなかったらこういう事にならなかったんじゃないだろうか…

そして淳一はそのまま倒れこんでしまった

(ん?)

意識が戻った…

しかしみたこともない光景が目の前にある…

……… ココハドコダツ …… 周りには何もない…

(ん?)

淳一は人らしき影をみつけた

淳一はすぐにむかった

やはり人だった…淳一は必死に起こした

(ん?ここはどこだ?)

目が覚めたらしい

（貴方もヤンキーにやられてここに連れてこられたの？）淳一は聞いた……
見知らぬ人はこう答えた

（俺は違ういつもどおり学校で寝てて起きたら授業中なのに誰も学校にいて不思議に思ってた外にでようとしたらさっきまで寝てて眠気なんかないはずなのに急激に睡魔が襲いねてしまい起きたらここにいたわけだ……）
両者は黙り込んだ……

（あ、名前聞いてなかったね俺は淳一っていうんだ）

（俺は智史って言う名前だ）

（ここは何が起こるか分からないから一緒に行動しよう）淳一はいった……

（OK、何が起こるか分からないしな、二人の方が安全だろ）

お互い今何を持ってるか調べた……

あ、淳一はポケットにカプセルが入っていたのがわかった
なぜだろう、こんなものみたことないな……

そこでカプセルを開けた

………中身がでかい……異様にでかい……そこには2つの袋とメモがあった

これに気付いてくれたかわからない……

ここは今まで住んでたと事は全く違う世界だ……
ここには魔物がでる……私等じゃ対処しきれないそこで地球の高校生の中で一番強い人と一番頭がきれる人を一人ずつ選んだ二人が協力すれば必ず魔物の頂点にたつ化物を倒せる………なので武器と金を同封したので役立てて欲しい……一応言うが魔物の頂点にたつ化物をやっつけた時地球に戻る次元の歪みがでるからそれでもどつてもらいたい……進むにつれて人間がいると思う……その人達は相当強い

はずだ是非仲間にして欲しい……では健闘を祈る……

(……………かなりウゼー殴られ損！？)

(まあやるしかないよ、化物なんか余裕さ)

淳一と智史は気合をいれた

あ、袋あけよーぜ

淳一はいった……

え……なにこれ……中からはお金？

よく分からないものがでて来た

たぶんここの通貨でしょう

ざっと二万くらいじゃないすか？

まあ武器はなになあ

古びた剣が2本でできた

……………だっさい剣だ

まあ大丈夫だよ

さあ、行こう！！

なんだよこの生き物は……

物陰に隠れて見ていた

よしあれは雑魚そうだ

しかも2体だから一人一匹殺ろう

と智史がいった

よし、行くぞ……

奇襲を掛けたと同時に剣をふった

スパッ……ドサッ……………

かなり弱い……………

（なんだ、この勢いなら余裕だなっさっさと化物の親玉殺すべ）
（だな）

両者共にテンションがあがりのりになった…

さあ行こう、冒険は始まったばかりだ

冒険の始まり（後書き）

続きドンドン書くんて面白かったと思った人は是非みてください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6551a/>

意識が戻ったら

2010年10月28日07時44分発行